

特教研 B-283

重度・重複障害のある子どもの実態把握、教育  
目標・内容の設定、及び評価に関する研究  
～現在及び将来を支える教育計画とその実施に関する予備的研究～

平成 24 年度

専門研究D 研究活動報告書

重複障害教育研究班

平成 25 年 3 月

独立行政法人 国立特別支援教育総合研究所

## 目 次

研究の概要	1
研究活動 1. 学校現場における課題の整理	5
(1) 専門研修員からの情報収集	7
(2) 学校訪問による観察と聞き取り調査	9
(3) 卒後の施設職員への聞き取り調査	12
(4) 複数の異なる障害種別学校を経験した教員への聞き取り調査	15
研究活動 2. 文献の収集・整理	17
(1) 個別の指導計画導入の経緯と文献	19
(2) 個別の教育支援計画・個別の指導計画の作成・実施プロセスにおける「本人中心の計画」アプローチの検討	22
(3) 本研究所の旧重複障害教育研究部の事例集からの検討	27
研究活動 3. 情報活用パッケージ項目案	29
研究活動 4. 情報活用パッケージ分冊（案）の試作	33
(1) 生活場面におけるコミュニケーション活用のアセスメント	35
(2) 感覚障害（聴覚障害）がある場合の行動観察の視点	41
今後の研究に向けて	49
資料	53
1 重複障害教育に携わる教員の専門性のあり方とその形成に関する一考察～複数の異なる障害種別学校を経験した教員へのインタビューを通して	55
2 本人中心の計画（将来を支える教育計画）の背景を巡って	69
3 「PATH（Planning Alternative Tomorrow with Hope）」について	83
4 「MAPS（McGill Action Planning System）」について	86
5 重度・重複障害のある児童生徒のキャリア教育と個別の教育支援計画の関連について	88